平成25年4月24日

各　　位

東京都中央区日本橋1丁目20番3号
藍　澤　證　券　株　式　会　社
代表取締役社長　藍澤　基彌
（コード番号：8708）
問合せ先　取締役　藍澤　卓弥
TEL　03-3272-3421
E-mail：ir@aizawa.co.jp

営業外収益、営業外費用の発生ならびに平成25年３月期連結業績見通しと平成24年３月期連結業績との差異に関するお知らせ

平成25年３月期（平成24年４月１日～平成25年３月31日）（以下、当期）において、営業外収益および営業外費用を計上することとなりましたのでお知らせいたします。なお、本件は当期の累計額であり、本日までに開示済みの内容も含めて記載しております。

また、当期業績と平成24年３月期（平成23年４月１日～平成24年３月31日）の業績に差異が生じましたのでお知らせいたします。なお、平成25年３月期の業績につきましては４月26日に開示の予定です。

記

１．　営業外収益の発生について

当期において、株式の配当金等による受取配当金２億10百万円の計上等により、営業外収益３億41百万円を計上いたします。

２．　営業外費用の発生について

当期において、投資事業組合運用損３億37百万円の計上等により、営業外費用３億57百万円を計上いたします。

３．平成25年３月期の業績見通し

（単位：百万円）

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
平成25年３月期(見通し)	11,377	1,780	1,764	1,829
平成24年３月期(実績値)	8,460	△1,298	△924	△1,624
増減額	2,916	3,079	2,689	3,454
増減率	34.5%	―	―	―

（注）1. 金融商品取引業の業績は経済情勢や市場環境の変動による影響を大きく受けるため、業績を適正に予想することは困難であることから業績予想を開示しておりません。それに代えて、四半期および通期の業績見通しを決算数値が確定したと考えられる時点で速やかに開示いたします。

2. 上記の業績見通しにつきましては、現時点で当社が合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は当該数値と異なる可能性があります。

４．連結業績見通しの説明

平成25年３月期の主な収益・費用の見込みは以下のとおりです。

(受入手数料)

受入手数料は第１四半期から第３四半期まで低調に推移したものの、12 月の政権交代による新政権の経済政策への期待から第４四半期に株式市場が大幅に回復したことにより株式委託手数料を中心として増加し、63億43百万円(前年度比105.4%)となる見込みです。

(トレーディング損益)

トレーディング損益はブラジルレアル建て債券、トルコリラ建て債券、ロシアルーブル建て債券といった外国債券の販売に注力したほか、アジア株式を中心とした外国株式の取り組みを強化した結果、43億97百万円(同229.3%)となる見込みです。

(金融収支)

金融収益は信用取引貸付金が減少傾向にあったことから４億５百万円(同94.1%)、金融費用は信用取引借入金の減少等により96百万円(同76.3%) となる見込みです。これにより、金融収支は３億８百万円(同101.6%)となる見込みです。

(販売費・一般管理費)

販売費・一般管理費は不動産関係費の減少、前連結会計年度における固定資産の減損損失の計上に伴う減価償却費の減少および外部委託業務の削減等により、95億円(同98.6%)となる見込みです。

(営業外損益)

営業外収益は受取配当金２億10百万円等により３億41百万円(同68.3%)となる見込みです。営業外費用は投資事業組合運用損３億37百万円等により３億57百万円(同283.5%)となる見込みです。これにより、営業外損益は15百万円の損失となる見込みです。

(特別損益)

特別利益は投資有価証券売却益２億64百万円、デリバティブ決済益２億15百万円等により４億95百万円となる見込みです。特別損失は投資有価証券売却損２億34百万円、投資有価証券評価損76百万円等により、３億40百万円となる見込みです。これにより、特別損益は１億55百万円の利益となる見込みです。

以　上